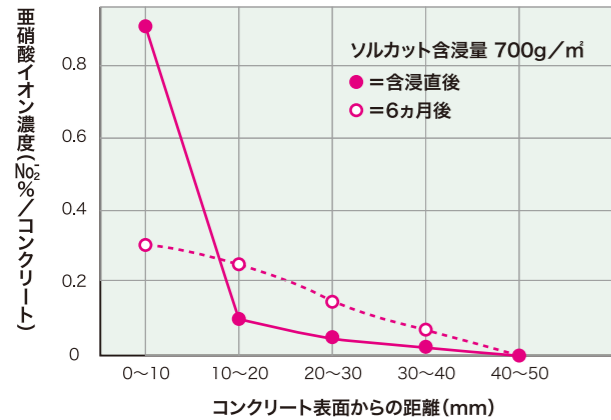


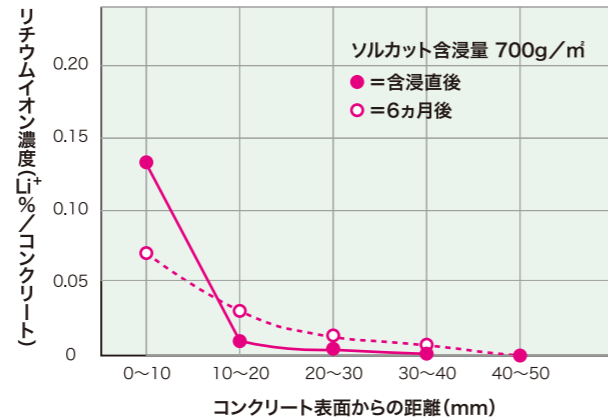
セメンシャスソルカット工法

《試験データに見るソルカット防錆剤のすぐれた特性》

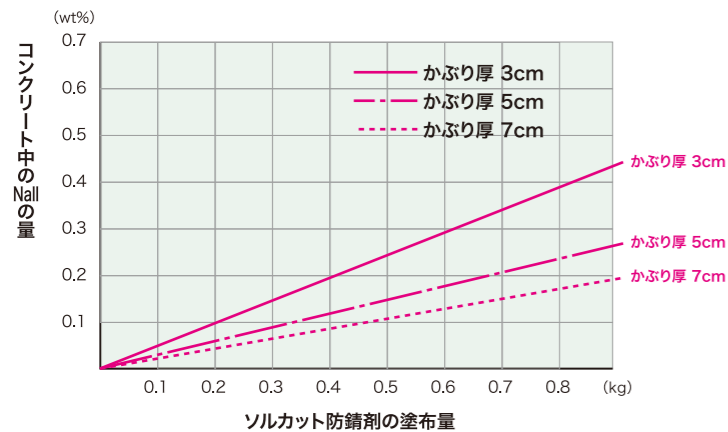
■“塩化物からの防錆”効果／亜硝酸イオンの浸透度



■“アルカリ骨材反応”抑制効果／リチウムイオンの浸透度



■塩分量によるソルカット防錆剤の塗布所要量



【施工・管理上の注意】

- ①施工の際は必ず保護メガネ、ゴム手袋、作業服等を着用し、ソルカット防錆剤が皮膚に付着したり目に入ったりしないようにして下さい。
- ②ソルカット防錆剤は原液のまま、刷毛又はワールローラーで塗布するようにし、水溶液単体のスプレー塗装は避けて下さい。
- ③ソルカット防錆剤の標準所要量は300～500g/m²です。但し、含有する塩分濃度により、その都度所要量を決定して下さい。
- ④コンクリート面に充分浸透するように均一に追いかけて塗りをして下さい。また露出鉄筋の周辺や、はつり部等は入念に塗布して下さい。
- ⑤ソルカット防錆剤は、混合による反応を起こすことがありますので他の材料と混合する場合には必ずメーカーにご相談下さい。
特に、酸性物質と接触させるとNO_xを発生しますので絶対に接触させないように注意して下さい。
- ⑥ソルカット防錆剤の取扱いには、化学薬品としての注意が必要です。
- ⑦皮膚に付着した時には、かぶれの心配がありますから、直ちに清水等で洗浄し、場合によっては医師の診断を受けて下さい。
- ⑧廃棄処分にする場合はセメントと混ぜて硬化後処分するか大量の水で薄めて洗い流すようにして下さい。
- ⑨保管は0℃以上40℃以下の所とし、また容器を衝撃などにより損傷させないように注意して下さい。
- ⑩施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
- ⑪施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

【包装単位】

ソルカット防錆剤	20kg缶
ダイヤエポ強化材	14kg(基材7.0/硬化材7.0kg)セット
セメンシャス#5000	19.5kg(主材14.5/混和液5.0kg)セット缶
セメンシャス#5500早硬型	21.5kg(主材19.0/混和液2.5kg)セット缶
セメンシャスでん充モルタルNDK:主材	20kg袋
セメンシャスバンドNDK:混和液	18kg缶



〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
 ☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021
 URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

取扱店

セメンシャス ソルカット工法

DIA

鉄筋コンクリート構造物の長寿命化を図る画期的な補修工法



除塩不足の海砂使用
 などによる内的塩害

海浜地区の海塩粒子
 などによる外的塩害

アルカリ骨材反応

に起因するコンクリートの損害を化学的に抑制

アノード抑制剤「ソルカット防錆剤」による内在塩分からの鉄筋保護を中心に、露出鉄筋の防錆および欠損部表面の接着強化(防錆・防食ポリマーセメント)、断面修復(防錆・防食ポリマーセメントモルタル)、有害物質の侵入防止処理(補修目的に適した各種表面被覆保護材)から構成され、塩害等を化学的に抑制する総合塗膜を形成します。

セメンシャスソルカットはアルカリ骨材反応を抑制するリチウムイオンと、塩化物による鉄筋の腐食（錆）を抑制する亜硝酸イオンを持つ亜硝酸とを主成分とする浸透形塩害防除用防錆剤です。コンクリートに浸透し、優れた防錆効果を発揮するとともに、すでに表面が発錆している鉄筋の不動体皮膜を再生し、腐食の進行を抑制する働きがあります。

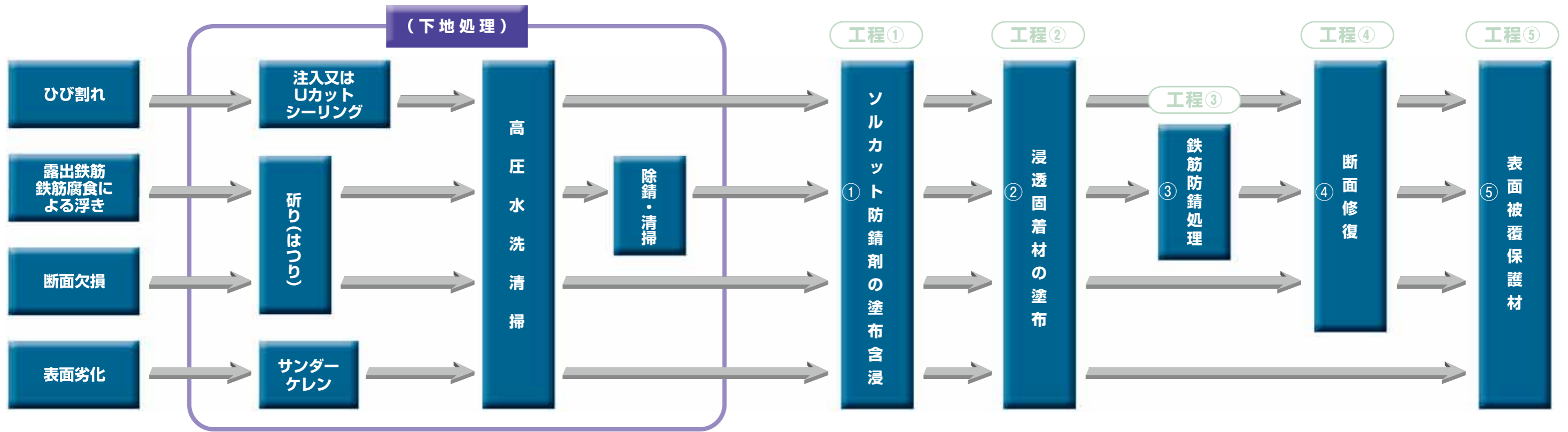
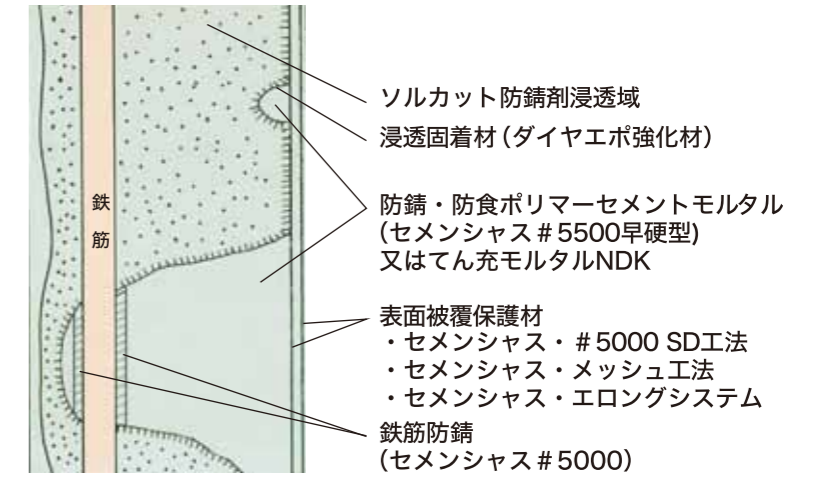
特長

- ①塩化物などを含むコンクリート中の鉄筋の腐食防止
- ②塩化物などによって破壊された鉄筋の不動体皮膜の再生
- ③アルカリ骨材反応およびアルカリ骨材反応による膨張の抑制
- ④中性化、塩分の浸透、雨水の浸入に対する保護機能
- ⑤アルカリ付与による中性化抑制機能

用途

- 塩分を含むコンクリート保護
- 海塩粒子の飛来が予想される建物の保護
- 露出鉄筋部の断面修復の防錆

“露出鉄筋・鉄筋腐食による浮き”の補修断面図



工程① 防塩・防錆・アルカリ付与

下地に含まれている塩化物やアルカリ骨材反応による劣化したコンクリートの抑制としてソルカット防錆剤を刷毛またはローラーを用いて全面に塗布します。

ソルカット防錆剤：20kg
 所要量：0.3～0.5kg/m²
 塗回数：2～3
 間隔時間：16時間以上（23℃）

工程② 浸透固着

下地の脆弱層に浸透固着材として、ダイヤモンド強化材（可使用時間：7～8時間/23℃）を刷毛またはローラーを用いて全面に塗布します。
 ※下地のケレン、清掃が充分行われ、かつ劣化が軽度な場合は省略します。

エポ強化材：基 材 7.0kg
 硬化材 7.0kg
 所要量：0.15～0.3kg/m²
 塗回数：1
 間隔時間：1時間以上48時間以内（23℃）

工程③ 鉄筋防錆

防錆・防食材セメンシャス # 5000（可使用時間：夏期1.5、冬期3時間）鉄筋部および下地面に刷毛を用いて塗布します。

セメンシャス # 5000：主 材 14.5kg
 混和液 5.0kg
 清 水 1～1.5kg

所要量：0.8kg/m²
 塗回数：1
 間隔時間：1時間以上（23℃）

工程④ 断面修復

50ミリ以下のコンクリート欠損部の断面修復に

(A) 防錆・防食ポリマーセメント系補修材セメンシャス # 5500早硬型（可使用時間：20～60分/23℃）をコテにより塗布します。欠損部が特に大きい場合はあて板を用いて充てんして下さい。

セメンシャス # 5500早硬型：主 材 19kg
 混和液 2.5kg
 清 水 1.5～2.5kg

所要量：1.700kg/m²
 間隔時間：16～72時間以上（23℃）

(B) ポリマーセメント系無収縮モルタル補修材セメンシャスてん充モルタルNDK（可使用時間：60～90分/23℃）をコテにより塗布します。欠損部が特に大きい場合はあて板を用いて充てんして下さい。

セメンシャスてん充モルタルNDK：主 材 20kg
 セメンシャスボンドNDK：混和液 3.0kg
 清 水 1.0～2.0kg

所要量：1.620kg/m²
 間隔時間：16～72時間以上（23℃）

※セメンシャス # 5500早硬型とセメンシャスてん充モルタルNDKは初期の硬化速度、単位容積と収縮率が異なります。用途、目的により選定してください。

工程⑤ 表面被覆保護材

セメンシャス # 5000・SD工法
 セメンシャスマッシュ工法
 セメンシャスエロングシステム等、用途に適した表面被覆保護工法を選び施工下さい。